

令和 8 年 3 月 26 日

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長 足立 信也 殿

所在地 大分市皆 1160-46 北の浦団地
団体名 譲渡会サポートボランティア うちのこねこ
代表者氏名 三島 典子
電話 090-2081-9558
担当者名 XXXXXXXXXX
担当者連絡先 XXXXXXXXXX

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第 13 条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|----------------|---|
| 1. 交付決定年月日 | 令和 7 年 9 月 9 日 |
| 交付決定番号 | 協働第 1682 号 |
| 2. 事業名 | 譲渡会サポートボランティア うちのこねこ |
| 3. 補助金の交付決定通知額 | 249,582 円 |
| 4. 補助金の概算交付額 | 0 円 |
| 5. 補助金の精算額 | 249,582 円 |
| 6. 事業の成果 | <p>本事業は、猫の殺処分ゼロを目指し、行政と連携しながら、里親希望者と譲渡可能猫との適切なマッチングを行うとともに、譲渡前後に必要な医療ケアや飼育アドバイス、情報発信を通じて、猫と人が共に安心して暮らせる環境づくりを目的として実施した。</p> <p>【譲渡会・譲渡支援】
おおいた動物愛護センター主催の譲渡会に参加し、譲渡支援を行うとともに、譲渡会に参加できない猫についても引き取り後に里親募集を行い、譲渡につなげた。</p> <p>【医療ケア】
譲渡前に必要な医療ケアを実施し、健康な状態での譲渡を行った。</p> <p>【情報発信・啓発】
譲渡会や SNS 等を通じて、猫の適正飼育や地域猫活動に関する情報発信と啓発を行った。</p> |
| 7. 添付書類 | (1)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
(2)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
(3)その他市長が必要と認める書類 |

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団 体 名	譲渡会サポートボランティアうちのこねこ			
事 業 名	譲渡会サポートボランティアうちのこねこ			
主な活動地域 ※該当する□に チェックしてく ださい。	<input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> 大分中央 <input type="checkbox"/> 大分東部 <input type="checkbox"/> 大分西部 <input type="checkbox"/> 大分南部 <input type="checkbox"/> 南大分 <input type="checkbox"/> 鶴崎 <input type="checkbox"/> 大南 <input type="checkbox"/> 植田 <input type="checkbox"/> 大在 <input type="checkbox"/> 坂ノ市 <input type="checkbox"/> 佐賀関 <input type="checkbox"/> 野津原 <input type="checkbox"/> 明野			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等) ※別紙添付可	時期 (月)	実施場所	受 益 対象者数	実 施 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	通年	おおいた 動物愛護 センター	譲渡会に 参加の方	《ミルクボランティア》 おおいた動物愛護センターよりミルクボラン ティアの要請のあった子猫を団体として引き 受けた
	2回/ 月	〃	平均10組 20名程度	《譲渡会サポート》 おおいた動物愛護センターが主催する譲渡会 で受付・猫のケア・写真撮影を行った 譲渡会時、里親希望者の飼育環境や先住猫を 確認しよりよい飼い方を提案したり里親希望 者と参加猫とのマッチングを行った 事前の猫の紹介や譲渡会時の様子をブログや SNSを利用して発信した
			各100名 程度	《猫まつり》 譲渡会以外の猫とのふれあいイベントにて運 営サポートおよび来場者への説明等
	通年	大分市	地 域 の 方々	《地域猫活動》 メンバーの居住区域での地域猫活動への参加 を受けアドバイスなどを施す
	9/23	おおいた 動物愛護 センター	多数	《啓発活動》 9/23 親子ふれあい動物フェスタにてブースを 出店しバザーやくじ引きなどの催しをした パネルにてTNR、地域猫の重要性を発信した
随時	大分市	5名	《個人譲渡支援》 殺処分対象であった猫を引き取り団体として 里親募集を実施した	
年10 回	大分市、 その他	400名	《独自の譲渡会を開催》 譲渡会会場を提供していただいた坂ノ市や向 原東の会場にて団体独自の譲渡会&相談会 を開催（その他別府市でも開催）	
使用した 広報手段と その効果	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> チラシ、広報誌 <input checked="" type="checkbox"/> facebook等のSNS <input checked="" type="checkbox"/> その他（具体的に） 団体ブログ、Facebook、Instagram、Threads等のSNS、譲渡会告知チラシ			

	<p>広報の効果</p> <p>① 譲渡会情報発信による効果 譲渡会に参加する猫の紹介を SNS 等で行うとともに、譲渡会当日には、猫との暮らし方や室内飼育の重要性、脱走防止対策、多頭飼育崩壊のリスクなどについて丁寧に説明を行った。これにより、里親希望者が猫を迎える際の責任や飼育環境について理解を深めた上で検討する機会を提供することができ、安易な飼育やトラブルの未然防止につながったと考える。 また、SNS での情報発信をきっかけに、譲渡会や飼育方法に関する問い合わせや相談が増加し、動物愛護センターや譲渡活動そのものへの関心向上が見られた。特に Instagram は情報の拡散力が高く、適正飼育に関する啓発を幅広い層へ届けることができた。</p> <p>② 地域猫・多頭飼育問題の啓発による効果 地域猫活動や多頭飼育問題について情報発信を行ったことで、野良猫問題に対する市民の関心が高まり、相談や問い合わせにつながった。動物愛護意識の向上や、地域猫活動への理解促進に一定の効果があったと考える。</p> <p>③ その他の効果 継続的な情報発信により、動物愛護センターの取り組みへの理解が深まり、ボランティア活動や支援への関心を持つ市民の増加につながった。</p>
活動目標の報告	<p>会費収入、事業収入や寄付金収入等の自己収益金の拡大、参加市民等の受益対象者の増加目標に取り組んだ結果 本事業では、子猫・成猫の譲渡会をより良い環境で実施し、一頭でも多くの猫を確かな飼い主へつなぐこと、併せて適正飼育の普及を目的として活動を行った。 おおいた動物愛護センターとの協力体制のもと、譲渡会支援や啓発活動を継続した結果、譲渡会参加頭数や啓発活動への参加者数が増加し、猫への理解が着実に広がっていることを実感している。これらの取り組みは、人と動物が共生する地域づくりに貢献できたものとする。</p>
事業の成果	<p>地域への効果について（対象地域にどのような効果があらわれたのかを記入） 保護猫や地域猫に関する情報を継続的に発信したことで、動物愛護に対する関心が地域内で徐々に広がっていると感じられた。 また、地域猫や保護猫の存在を周知することにより、野良猫や多頭飼育といった課題について、これまで関心を持つ機会の少なかった市民が、問題として認識するきっかけを提供できたとする。 また、TNR（捕獲・不妊去勢・元の場所へ戻す）活動が実施された猫についても、適性を見極めたうえで人に慣れている個体は譲渡へとつなげる取り組みを行った。これにより、地域における猫の個体数の抑制だけでなく、鳴き声やふん尿被害といった生活環境への影響軽減にも寄与し、地域環境の改善に貢献した。 これにより、地域における猫を取り巻く課題について、関心や問題意識を喚起する一助となった。</p> <p>市民への効果について（市民福祉の向上にどうつながったのかを記入） 今年度も多くの猫が譲渡され、譲渡後の様子を SNS で発信したことで、市民から一定の反響があり、保護猫や譲渡活動に対する関心の高まりがうかがえた。 猫と暮らす具体的な様子を伝えることで、猫を家族として迎えることに対する不安の軽減や、適正な飼育への理解を深めるきっかけになったとする。 また、野良猫問題についても、相談対応や情報提供を通じて、市民が考える機会を持つことにつながり、市民福祉の向上に向けた意識づくりの一助となった。</p>
来年度に向けた課題	<p>猫の保護活動は個人宅で行うことが多く、保護主の経済的・精神的負担が大きいことが課題である。今後は、よりスムーズに譲渡へつなげる体制を整え、個人負担の軽減を図る必要がある。 また、団体独自の譲渡会の開催基盤が整いつつあるため、今後は開催回数や周知方法を工夫し、より多くの猫の譲渡を目指していきたい。</p>

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業名： 譲渡会サポートボランティア うちのこねこ

1 【収 入】

(単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
補助金収入	249,582	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入		
事業収入	287,278	イベント等でのバザー及びグッズ販売による収益
寄附金収入	199,382	支援者からの寄付およびイベント時の募金
その他		
合計	736,242	

2 【支 出】

(単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
報償費		
旅費		
消耗品費	108,263	猫フード、猫砂他、インク代、用紙代 (75,197円外)
燃料費		
食糧費		
印刷製本費	21,927	コピー代(フライヤーなど)
通信運搬費		
広告料	68,207	新聞広告及び Instagram 広告 (75,146円外)
保険料		
手数料・委託費	484,883	猫の医療費 (75,41485円外)
使用料・賃借料		
原材料費	52,962	グッズ製作費 (75,715円外)
備品購入費		
合計	736,242	補助金経費 677,889

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。